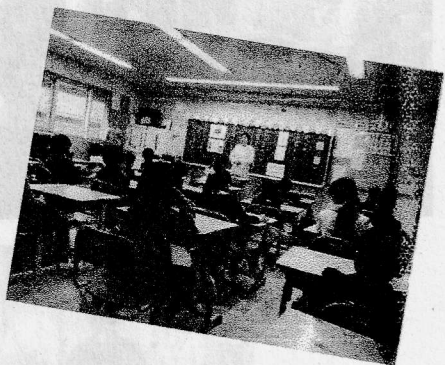
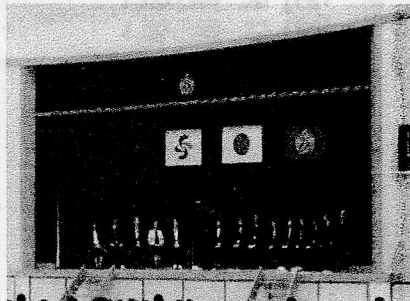




あそ野学園の令和8年度がスタートしました!

4月8日(水)、令和8年度がスタートしました。着任式が行われ、児童生徒は着任された先生方のあいさつをしっかりとした態度で聞くことができました。また、始業式では代表の児童生徒が学習面、生活面で1学期に頑張りたいことを発表しました。

そして10日(金)、入学式が行われ、79名のピカピカの新一年生が入学しました。「新入生呼名」では、一人一人しっかりと返事ができました。また、お祝いのお話を聞く態度も立派でした。保護者の皆様や来賓の方々、教職員に見守られ、今年も満開の桜の下、心温まる入学式となりました。



入学式



1年生を迎える会

ようこそ、あそ野学園へ! 4月27日(月)に1年生を迎える会が行われました。

企画委員の準備・運営で、1年生は2~6年生からのプレゼントや歌、あそ野クイズで楽しみました。

恒例により、1年生をさらいに来たブラック団が参上!みんなで力を合わせ、見事に倒すことができました。

企画委員のみなさん、お疲れさまでした。





「お」は 押さない
 「は」は 走らない
 「し」は しゃべらない
 「も」は 戻らない



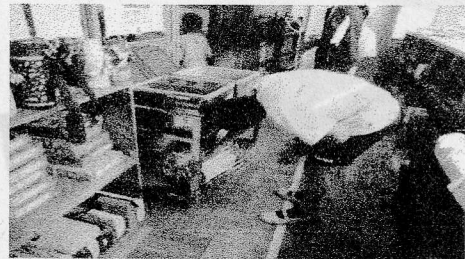
避難訓練

5月7日(木)、地震発生後、火災が発生したことを想定して、今年度第1回目の避難訓練がありました。1年生から9年生までの児童生徒が避難時の合言葉「お・は・し・も」を守り、真剣に取り組むことができました。

委員会活動

5年生から9年生が協力して行う委員会活動が、今年度も始まりました。前期課程の児童と後期課程の生徒が協力して行う委員会活動は、義務教育学校ならではの活動です。

給食委員会では、毎日の準備や片付けをていねいに行い、みんなが気持ちよく給食を食べられるよう支えています。担当の仕事だけでなく、自主的に低学年の片付けも手伝う後期の生徒の姿がとても頼もしく、学校全体のために進んで行動できる姿勢が光っています。



前期課程児童数	481名
後期課程児童数	288名
合計	769名
教職員数	81名

地域の皆様へ

あそ野学園義務教育学校の様子をお伝えするため、「あそ野ニュース」を発行します。町内の班回覧にてご一読いただけたら幸いです。1年間よろしくお願いたします。

令和8年度の児童生徒数及び教職員数です。今年度もよろしくお願いたします。

あそ野学園 HP の二次元コードです。
 ぜひご覧ください。



令和8年5月

あそ野学園義務教育学校 周辺にお住まいの皆様

佐野市立あそ野学園義務教育学校長

大蔵 勝也

緊急時における児童生徒引き渡し訓練を実施します

本校において、避難訓練の一つである「引き渡し訓練」を実施します。大地震やゲリラ豪雨、雷など大規模な自然災害時を想定しての保護者への児童生徒の引き渡し訓練です。

下記の時間、学校の周辺では渋滞が起こることが予想されますがご承知おきください。

昨年度は前期課程(小学校)のみでしたが、今年度は後期課程(中学校)も含めた全校での訓練となります。

御迷惑をおかけしますが、何卒よろしく申し上げます。

- 1 日 時 令和8年6月24日(水)
13:10~14:30頃
- 2 場 所 あそ野学園義務教育学校

※このお知らせは、田沼(あそ野)・戸奈良・三好地区の方のみに案内しています。

三役、顧問、町内会長、班長、各事業部長、監事
環境衛生委員長、民生委員代表者、氏子総代代表者 各位



令和8年6月1日
上町西町会
町会長 安部賢二

八坂神社祭典 全体会議について

日頃より町会運営にご協力を賜り心から感謝申し上げます。
回覧などでお知らせしましたように、八坂神社祭典を開催致します。
今年も、祭典の前日に町民同士の「ふれあい」を念頭に前夜祭を行うことになりました。本祭の子ども神輿等についても、従来通り開催いたします。
標記の件につきまして、下記の通り会議を開催します。
お忙しいところ恐縮ですが、万障繰り合わせの上、ご出席くださるようお願いいたします。

記

- | | |
|-------|---|
| 1.日時 | 令和8年7月5日（日） 午前10時 |
| 2.場所 | 上町公民館 ホール |
| 3.内容 | 概要説明、各役割分担の確認等 |
| 4.その他 | 座席は、ホール入口に掲示しておきますのでよろしくお願い
いたします。スリッパをご持参願います。
会議終了後、三役、各町内会長、各班長による自主防災会
の行事として、防災機材等点検作業を実施いたします。 |

以上

2026年5月31日
上町 西町会
町会長 安部賢二

石碑から上町の歴史を解く No.1

忘れ去ろうとしている、上町が歩んできた歴史を「当時生きてきた人々の思い」について現存する碑文をもとに整理してみました。上町の歴史や人々の信仰、当時の社会情勢を明らかにしたいと思います。

1. 石碑(十王堂の南西)は次の通りであった。□は解読不能 ①から④は下記の通り
神明公園 遷座記念碑

神明宮八坂神社 ①明治四十三年八月 土地二反九畝歩及立木無償添付シ
郷社 一瓶塚稻荷神社と合併ス ②大正 十一年三月該土地ヲ金五一〇円ヲ以テ
神明氏子買戻ス ③昭和七年四月氏子一同 協議ノ上三筆惣反別四反六畝二六歩
ヲ公園トシ 元地ニ神社ヲ遷宮ス並ニ④天保五〇年 正月廿日夜午ノ刻田沼大火災
百年ニ當リ鎮火災ヲ修行ス

協議員

常設員 松本榮吉 工事員 松本榮吉

// 川田鴻三郎 // 川田鴻三郎
八下田豊三郎 八下田豊三郎

峰崎傳次郎 冨田與市

渡辺定次郎 町惣代 川田富士吉

冨田與市 // 龜山榮吉

// 伊藤 央 町務員 永島文吉

腰塚春吉 // 阿部嘉一郎

石岡重吉 川田金太郎

龜山夢市 金子甲子蔵

大沢音次郎 會計 相田芳太郎

川田長次郎

大沢 房吉

口崎口蔵

氏子一同

昭和七年十一月

2. この石碑から上町歴史を解く

昭和七年十一月この石碑は、田沼町上町の「神明公園」の成り立ちと、当時の地域住民の強い連帯感を象徴する非常に興味深い史料といえます。記載内容から、以下の歴史ドラマが見えてきます。

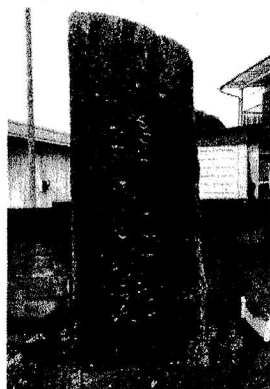
神社の「合併」と「買い戻し」の苦勞、当時の時代背景では明治末期から大正にかけて、政府の「神社合祀(ごうし)」政策により、地域の小さな神社が大きな神社に統合されました。

- ① 明治43年8月: 地元の「神明宮八坂神社」無格社が、土地と立木を付けた状態で、郷社(格上の神社)である一瓶塚稻荷神社へ合併させられました。
- ② 大正11年3月8日: それから12年後、地元(氏子)の人々が「やはり自分たちの土地に神様を戻したい」と、510円(当時の大金)を出し合って68人で土地を買い戻したことが記されています。自分たちの心の拠り所を取り戻そうとする当時の人々の執念が伝わります。

一瓶塚稻荷神社は、当時、郷社(格上の神社)として認められていました。神明宮との関係にあってその影で、このように土地を守り、神社を戻そうとした氏子の方々の奮闘があったのです。

- ③ 公園の誕生と遷宮、昭和7年4月: 神明宮八坂神社の社司も居ない中、買い戻した土地を含む約4,600平方メートル(四反六畝)を「神明公園」として整備し、この公園は、単なる遊び場ではなく、自分たちの土地を買い戻して守り抜いた「証」として誕生したのです。
- ④ 「田沼大火」から100年の節目碑文にある「天保五(1834)年正月廿日の午(うま)の刻(正午ごろ)」に起きた田沼大火は、町の大部分を焼き尽くした歴史的な大災害であった。昭和7年がちょうどその100回忌(百年)にあたるため、鎮火祭を執り行い、改めて地域の安全を祈願したことがわかります。石碑には、過去の教訓を忘れないという決意も込められています。

昭和7年の神明公園 遷座記念碑の碑文は、一度バラバラにされかけた地域の信仰やコミュニティを、神明宮八坂神社を崇め自分たちの手でもう一度「神明公園」として、再構築した一大事業だったと言えます。(by 安部賢二) 石碑の正面と裏面



田沼地区 班回覧

公民館だより 第28号

発行日 令和8年6月1日

責任者 柳 誠

住所 佐野市田沼町 727

区民の皆様には、日頃より田沼地区公民館の事業にご協力いただきまして、ありがとうございます。今年度の田沼地区公民館事業について、お知らせします。皆様の参加をお待ちしています。

☆ 田沼地区グランド・ゴルフ大会実施

令和8年5月2日(土) 田沼地区グランド・ゴルフ大会が行われ、参加者50名が日頃の技を競い合いました。

優勝者は、瓦町の三村 喜雄さんです。

準優勝は、仲角の松井 義明さんです。

第3位は、仲角の岡田 登代さんです。

おめでとうございます。

☆ 公民館杯ソフトボール大会 5月24日(日)

(会場:田沼総合運動場)

☆ 公民館杯ソフトバレーボール大会 7月12日(日)

(会場:DAIKYOアリーナ佐野)

★ 区民運動会 9月27日(日) (会場:田沼小学校校庭)

★ ファミリーフェスティバル 11月15日(日) (会場:田沼中央公民館)